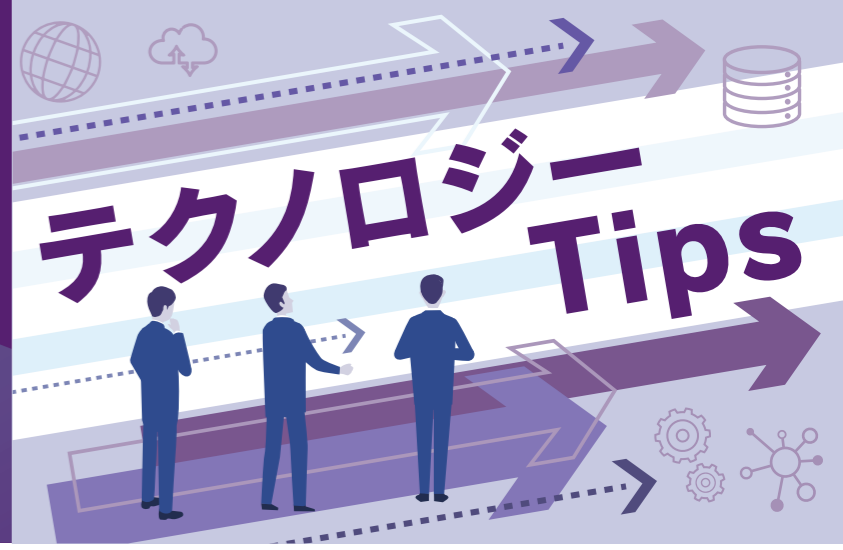


# 「課題は情報共有だなー」「情報共有が重要だっ!!」ってよく言いますよね。 情報には大きく分けて2つの「型」があります。 「型」をしっかりと整理・理解していないと? フロー情報とストック情報の概念と注意点を整理しました。



## 情報は大きく分けて2種類ある!「フロー型」と「ストック型」

情報共有が正しく行われていると、業務を円滑に進めることができるようになります。しかし、情報の内容によって適切な管理や共有方法が異なり、これを知らないと、チーム連携が取れず、業務の生産性はあがりません。デジタルツールを導入している場合も活用や運用がうまくいかなくなってしまうことがあります。今回は、業務で発生する情報を「フロー」と「ストック」の2つに分け、これらの定義や特徴について実例を交えながら、それぞれのメリットデメリットなどについて解説していきます。



### フロー型? ストック型? とは

#### ●フロー型の情報

フロー型の情報は、時間とともに流れていく情報のことです。フローは「流れ」という意味で、「川」のようなものです。これは、リアルタイムで更新される情報や、一時的な価値を持つ情報を指します。ニュース速報やSNSの投稿、メールやチャット、電話、直接の会話もその部類です。これらの情報は、最新の状態を把握するために常に更新され続けます。



- 例えば
- ニュース速報: 例えば、地震速報や選挙結果の速報など。
  - SNSの投稿: X (旧Twitter) やInstagramのタイムラインに流れる投稿。
  - チャット: 最新の情報をリアルタイムに大勢で簡単に、共有できる。
  - メルマガ: 「今伝えたい最新の商材」等を一気にお客様に流す。
  - 直接の会話: 直接電話やリアルで伝える「言葉」もフロー型の情報。

#### ●ストック型の情報

ストック型の情報は、時間が経っても価値が減少しない、蓄積され続ける情報のことです。簡単に言えば、書籍やその保管庫である図書館のようなイメージです。これは、長期間にわたって参照される情報や、基礎・基盤的に保存される情報を指します。



- 例えば
- Web百科事典の記事: 歴史的な出来事や科学的な知識に関する記事。
  - 顧客マスター: 顧客の企業名・住所や電話番号、そこで働く社員の情報。
  - マニュアル: 製品やソフトウェアの使用方法や機械の操作手順など。
  - 社内規定: 就業規則や給与規定、経理規定など。
  - 料理のレシピ: 料理のレシピが蓄積されていきメニューも増える。



### ①時間的な価値

フロー型の情報はリアルタイムでの価値が高く、時間が経つと価値が減少します。一方、ストック型の情報は長期間にわたって価値を持ち続けます。

### ②更新頻度

フロー型の情報は頻繁に更新されますが、ストック型の情報は一度作成されると頻繁には更新されません。大切なマスターデータともいえます。

### ③利用目的

フロー型の情報は最新の状況を把握するために利用され、ストック型の情報は基礎的な知識や長期的に情報を参照するために利用されます。



# 気を付けましょう!情報共有の注意点!

## ●フロー型情報の注意点

フロー型情報は、例えばメールやチャットのように、リアルタイムでやり取りされる情報です。この場合、「ヤマダタロウ」(全角)でも「ヤマダ ㊿」(半角)でも、相手に伝わる人が多いです。例えば、株式会社JAPANシステムズの「山田太郎さん」から連絡があった際に、「ジャパンのヤマダさんから電話ありました」とチャットや直接の言葉で伝えれば、相手はその意味を理解するでしょう。

## ●ストック型情報の注意点

ストック型情報は、長期間にわたって保存され、正確さが求められる情報です。例えば、取引先データベースに「会社名:ジャパン 顧客名:ヤマダ」と入力してしまうと、正確な情報にはなりませんよね?! さらに「ヤマダタロウ」と「ヤマダ ㊿」では異なる情報として扱われますし、「苗字と名前の間に【スペース】が入っているだけで違う情報」であり、また「株式会社JAPANシステムズと(株)JAPANシステムズ」でもデータとしては異なります。結果、後々の検索や参照に支障をきたすことがあります。



**注意点**

リアルタイムのコミュニケーションでは、多少の表記揺れがあっても意味が通じることが多いですが…



**注意点**

正確な表記が求められ、表記揺れがあると正確な情報として扱われない可能性がありますよね…

## マスターデータとトランザクションデータの観点から、フロー型の情報とストック型の情報を整理してみましょう。

復習します。



### ●マスターデータ

マスターデータとは、ビジネスの基本的な情報を含むデータで、長期間にわたって安定しているものです。

顧客情報	顧客の名前、住所、連絡先など
製品情報	製品の名前、価格、仕様など
従業員情報	従業員の名前、役職、給与など

マスターデータは、ビジネスの運営に必要な基盤となるデータであり、他のデータと結びつけて使用される。

●マスターデータイメージ  
マスターデータ

社員マスタ		
社員コード	氏名	部署
00001	AAAAA	XXXXXX
00002	BBBBB	YYYYY
00003	CCCCC	ZZZZZ

他のデータに属性を付与

勤怠データ		
社員コード	出勤時間	退勤時間
00001	00:00	00:00
00002	00:00	00:00
00003	00:00	00:00

### ●トランザクションデータ

一方で、トランザクションデータは、日々の業務活動や取引に関するデータです。

販売データ	特定の顧客が特定の製品を購入した日時、数量、金額など
営業日報データ	営業が訪問したお客様の状況、活動報告など
支払いデータ	顧客からの支払い記録、支払い方法、支払い日時など

トランザクションデータは頻繁に更新され、マスターデータと結びついています。

●トランザクションデータイメージ  
マスターデータ

社員マスタ		
社員コード	氏名	部署
00001	AAAAA	XXXXXX
00002	BBBBB	YYYYY
00003	CCCCC	ZZZZZ

勤怠データ		
社員コード	出勤時間	退勤時間
00001	00:00	00:00
00002	00:00	00:00
00003	00:00	00:00

日々追加更新

トランザクションデータ	
00:00	00:00

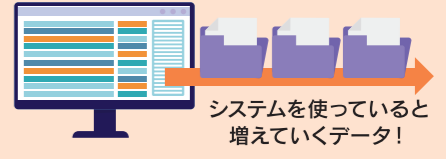
### 一言でまとめます!

#### マスターデータ



システムを使う前から入れておくデータ!

#### トランザクションデータ



システムを使っていると増えていくデータ!

**つまり!**

**ストック型の情報≒マスターデータ** ストック型の情報は、「正確かつ一貫し、最新にアップデートされ、完全なデータであり、セキュリティが強固」でなくてはならない!

**フロー型の情報≒トランザクションデータ** フロー型のデータは「常にリアルタイムで最新、見やすく、簡潔、そして真実であり、即時価値が高く」なければならない!

このように、フロー型情報とストック型情報では、情報の取り扱い方や注意点が異なります。リアルタイムのやり取りではフレッシュさ、柔軟性・即時性や情報の価値が強くと求められますが、長期保存される情報では正確さや完全性、一貫性、そして強固なセキュリティが非常に重要です。

前はデータの基本に触れ、今回は、情報共有のコツについて整理しました。**ICT化、デジタル化、業務のデジタルトランスフォーメーションを進めるには、データが重要であり、そのデータがどのような性質か?を見極め、正しい情報共有を「仕組化」していくことが重要です。**ぜひ、貴社のデータのアップデート、情報共有、デジタル化をお手伝いさせていただきます。

当社がしっかりご提案、導入サポートいたします!

と当社にご相談ください!